

# ケイミー「軒天材30」 施工説明書

## ■ 施工上の注意点

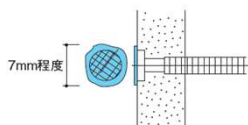
※裏面の施工基準・施工のポイントもご確認ください。

**釘打ち時の打込みすぎや角欠け、打痕がつかないようにご注意ください。**

- ・留付けは軒天材専用リング釘40を用い留付けてください。
- ・釘打ち機使用時は、事前に試し打ちを行い、エア圧、打ち込み深さの調整を十分に行ってください。
- ・ハンマー使用時は、先穴をあけ一度に打ち込まないようにしてください。また、本体をたたかないようにご注意ください。
- ・陥没した場合や打痕がついた場合は、交換をお願いします。

**現場仕上げ塗料による補修は目立たない様にご注意ください。**

- ・現場仕上げ塗料は、切断面取り部や著しく目立つ釘頭の仕上げ用として用意しています。
- ・塗布面積が大きくなると外観上目立ちますので、塗布は最小限にとどめてください。(釘頭の場合7mm程度)



## ■ 取扱い上の注意点

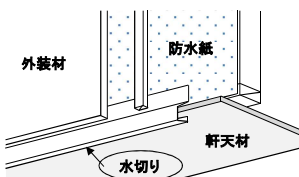
### 保管・運搬時および取り扱い時の留意事項

- 必ず守る** ① 施工現場では必ず防水シートをかけて保管してください。
- 必ず守る** ② 屋外での保管時はできるだけ堅い平らな場所に置いてください。
- 必ず守る** ③ 車両等で運搬する時は平積みになしてください。
- 必ず守る** ④ 数量の少ないパレットを下にしないでください。
- 必ず守る** ⑤ 持運び時は、軒天材は木端立てにして運んでください。
- 禁止** ⑥ 立てかけ保管はさけてください。
- 禁止** ⑦ 軒天材表面に付着した切断粉の水ぶきはしないでください。  
※エア除去または乾いたきれいなウェス布・柔らかいブラシなどで十分に  
取り除いてください。



### 使用部位

- 禁止** ⑧ 軒天井以外の用途（破風、鼻隠し、外壁、ベランダの内壁等）には使用しないでください。
- 注意** ⑨ バルコニー下等に使用する場合は壁面に水切りを設け、軒天材裏面に水がまわらないようにしてください。



## ■ 商品仕様

柄名	木目調			エンボス調	
	色名	ベージュ	ブラウン	ブラック	シルクホワイト
品番	L3Y2461WK	L3Y2462WK	L3Y2463WK	L3Y2471WK	L3Y2472WK
サイズ/ 重量/ 材質	12×910×3030mm/ 約43kg/枚/ パルプ系繊維混入けい酸カルシウム化合物板				
断面形状					

軒天材専用 リング釘40 (袋入) [75本/袋]	B8740M4108	B8740M1504	B8740M1736	B8740M1710	B8740M1736
	軒天材専用 リング釘40 (ブラ連結) [2巻/箱 200本/巻]	B8740M4108P	B8740M1504P	B8740M1736P	B8740M1710P
シーリング (スーパー KMEW シール30)	B84304108	B84304109	B84304110	B84302491A	B84301713
現場仕上げ塗料 (溶剤系 1液)	ハース色用/ B93HB2656D トップイメージ色用/ B93HB4108	ハース色用/ B93HB2657C トップイメージ色用/ B93HB4109	ハース色用/ B93HB669Y トップイメージ色用/ B93HB4110	B93HB2658	B93HB669Y

推奨品	換気部材
換気部材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軒元用換気部材：BM2【日本化学産業(株)】 有効開口面積：100cm<sup>2</sup>/m (L=1820)</li> <li>・発泡材：ありまたはなし</li> <li>・材質：塗装GL鋼板（一般地）、塗装ステンル鋼板（塩害地）</li> </ul>

## ■ 施工基準

<1> 下地基準 ※木下地のみ対応しています。(鋼製下地には対応していません。)

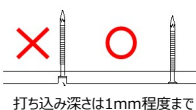
		換気部材なし	換気部材あり
野縁組	組み方	梯子組 平行組は不可	同左
	寸法	30×40以上	同左
	軒天目地部	60×40以上、または30×40 2本組	同左
	軒の出方向の間隔	500mm以下	同左
	軒の幅方向の間隔	455mm以下	同左
	留め付け材	釘：φ2.75×長さ50mm以上 (現地調達) ねじ：φ2.75×長さ50mm以上 (現地調達)	同左
吊り木	不陸	2mm以下	同左
	必要条件	軒の出が500mmを超える場合、かつ野縁を垂木に留付けない場合必要	同左
	寸法	30×30以上	同左
	軒の出方向の間隔	500mm以下	同左
	軒の幅方向の間隔	1000mm以下	同左
	留め付け材	釘：φ2.75×長さ50mm以上 (現地調達) ねじ：φ2.75×長さ40mm以上 (現地調達)	同左

<2> 軒天材施工基準

		換気部材なし	換気部材あり
留付け部材	釘	軒天材専用リング釘 φ2.3×L40 ステンレス製	同左
	留付け位置	野縁	同左
	留付け間隔	軒の出方向：@230mm以下 軒の幅方向：@225mm以下	軒の出方向：@190mm以下 同左
	端打ち寸法	20mm以上	同左
	切断面処理	切断木口面には必ず専用防水シーラーを塗布 防水シーラーは軒天材表面にはみ出さないように塗布	同左
	切断突付け部処理	面取り後、現場仕上げ塗料にて塗装	同左

## ■ 施工のポイント

①下地施工	<ul style="list-style-type: none"> <li>下地には十分乾燥した木材を使用してください。</li> <li>木下地のみ対応しています。(鋼製下地には対応していません。)</li> </ul>	④換気部材の施工	<ul style="list-style-type: none"> <li>詳細は各製品に同梱している施工説明書をご確認ください。</li> </ul>
②軒天材の加工	<ul style="list-style-type: none"> <li>軒天材の切断には、この刃は超硬チップソー、防塵フード付き丸のこを使用してください。</li> </ul>	⑤現場仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨天時や軒天材表面が濡れている場合、気温5℃以下の場合は塗装を避けてください。</li> <li>付属の攪拌棒で十分に攪拌してください。現場仕上げ塗料は薄めず、そのまま使用します。</li> <li>付属のハケを用いて、塗布面積は小さく塗布します。</li> </ul>
③軒天材の施工	<ul style="list-style-type: none"> <li>釘打ちにはハンマーや釘打ち機を使用してください。</li> <li>釘はケイミュ純正釘を使用してください。</li> <li>上向き作業時は、目にゴミが入らないように保護メガネを着用してください。</li> <li>リング釘やビスの頭は1mm以上沈めないようにしてください。</li> <li>軒天材の切断部分は原則、露出しないように納めてください。</li> </ul>	⑥安全に関する注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>高所作業では正しく足場を組み、作業場を整理してから作業してください。</li> <li>また、必ず落下防止措置をとってから、作業してください。</li> <li>物干しフック、防犯カメラ、照明器具等を取付ける場合は、野縁等の下地に留付けてください。軒天材に固定した場合、落下する危険性があります。</li> </ul>



■ 納まり参考図①

【軒天材の納まり】

【換気部材の納まり】

	軒の出500mm以下	軒の出500mm超1000mm以下
水平軒天		
勾配軒天		
けらば		

部材名	日本化学産業 BM2 (発泡材あり/なし)
施工図	
断面図	

■ 納まり参考図②

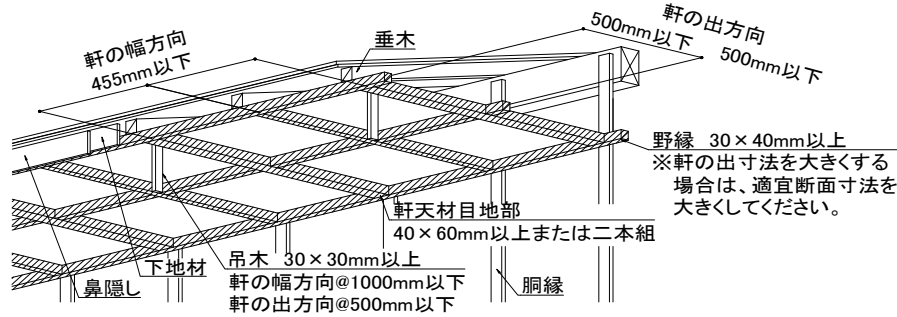
【野縁組】

一般部\_水平軒（軒の出500以上の場合 吊木あり）

軒の出寸法  
最小寸法~1000mm以下

最小寸法 (mm)

軒天材のみ	55
BM2使用時	88

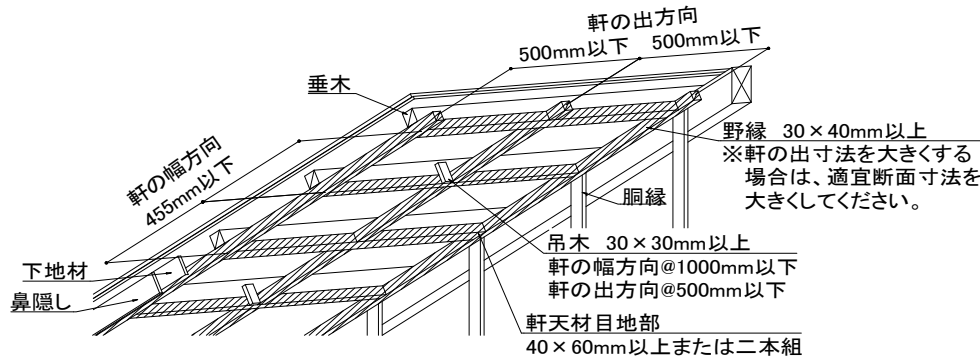


一般部\_勾配軒（軒の出500以上の場合 吊木あり）

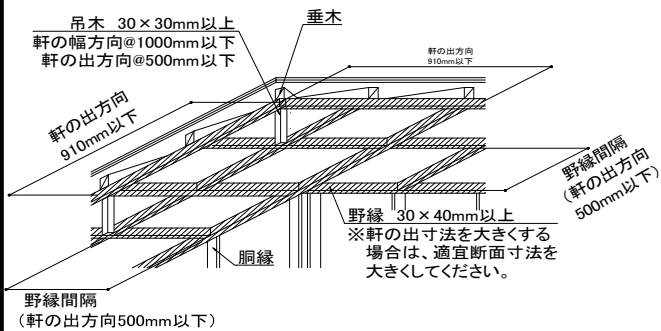
軒の出寸法  
最小寸法~1000mm以下

最小寸法 (mm)

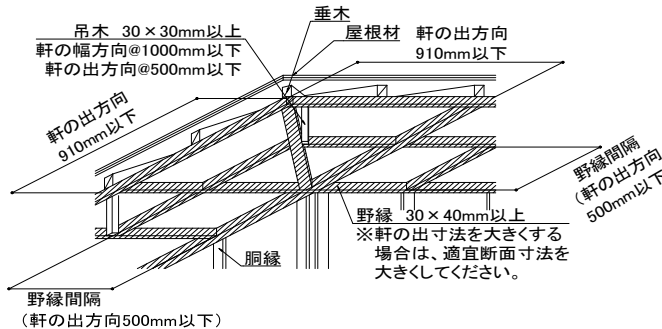
軒天材のみ	55
BM2使用時	88



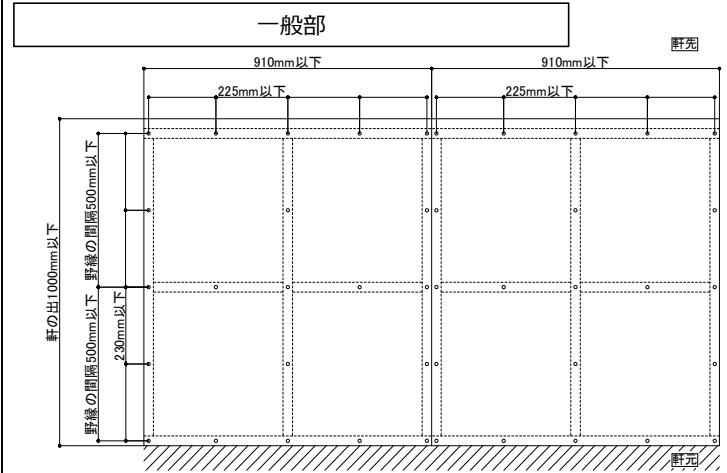
出隅部（出隅を1枚で納める場合）



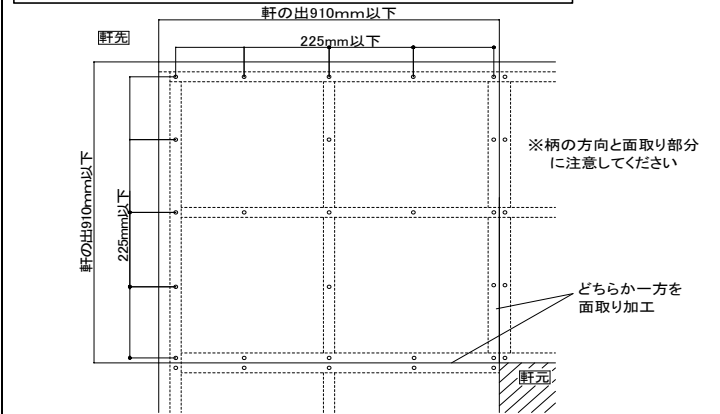
出隅部（出隅を1枚、または突付けで納める場合）



【軒天材の留付け】 ●部：釘留付け位置を示す



出隅部（出隅を1枚で納める場合）



出隅部（出隅を1枚、または突付けで納める場合）

